

平成18年度に総合科学技術会議が実施した 「国家的に重要な研究開発の事前評価」の概要

目 的： 平成19年度から開始予定の国費総額が約300億円以上の研究開発について、内閣府設置法に基づき総合科学技術会議が評価を行い、その結果を公開するとともに、評価結果を推進体制の改善や予算配分に反映。

検討方法： 各府省の概算要求を受けて、評価専門調査会において外部専門家等も参加して調査・検討。平成18年11月13日の同調査会で評価(案)をとりまとめ、同年11月28日の本会議で審議、決定し、関係大臣に意見具申。

件名	ターゲットタンパク研究プログラム 【文部科学省】	太陽エネルギーシステムフィールドテスト事業 【経済産業省】
研究開発の概要	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生命の解明、医学・薬学等への貢献、食品・環境等への応用に向けて、競争的資金制度の枠組みの下、タンパク質の構造・機能解析のための要素技術を高度化しつつ、ターゲットとなるタンパク質の構造・機能解析を連携して行い、最終的には、重要な生命機能を担うタンパク質ネットワーク群の作用機序の解明を行う 19年度55.3億円, 20年度52.0億円 / 計画時予定総額371億円(5年間) 	<ul style="list-style-type: none"> 新型モジュールなどの新技術を活用した太陽光発電及び太陽熱利用システムを産業・公共施設等に導入し、システムの有効性及び経済性等を検証するための実証事業 太陽エネルギー利用を普及させるため、技術開発された成果を実際の利用環境に投入・検証し、検証により得られた成果を技術の向上、標準化、製品開発等に繋げるもの 19年度88.6億円, 20年度66.3億円 / 計画時予定総額364.5億円(8年間)
評価の概要	<p>【総合評価】</p> <p>本プログラムの生物学上の意義及び社会・経済上の意義は高く、また、競争的資金制度を用いて全国から創造的なアイデアを集める方針は、飛躍的な技術開発を目指す方策として適切であることから、<u>実施することが適当</u></p> <p>【指摘事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業界で自立的に取り組まれるようなタンパク質ネットワーク群ではなく、リスクが高く、かつ重要な生命機能を担うターゲットを選定 革新的な技術開発への挑戦を促すような目標設定及び意欲的な研究テーマの採択 効果的・効率的な研究開発実施体制を確保する仕組みの構築及び実施体制に応じた弾力的な資源の配分 マネジメントサイクルの確実な実行と計画、資源配分の柔軟な見直し 	<p>【総合評価】</p> <p>技術開発の成果の出口と市場に初期導入される入口を担う重要な取組、かつ、イノベーション創出実現のモデルとしても有益であることから、<u>実施することが適当</u></p> <p>【指摘事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 普及のための具体的な事業戦略を策定し、推進 期待される成果等の明確な設定及び得られた成果等の適切な評価の実施、そのための評価体制の構築等 政策目標を達成すべく不断の事業改善への取組 成果を国民へ還元するため、成果や知見を継続的・効果的に情報提供、そのための取組を具体化